



ねん くみ ( )

「かんきょうはかいが すすんでいます。よけいな ゴミを  
ださないように きをつけましょう。」

マサルは がっこうで、そう ならいました。

「たしかに、よけいな ゴミを ふやしてしまうことって、  
よく あるな。ゴミを へらせば、ゴミを もやさなくて  
すむのだから、かんきょうに いいのだな。」

マサルは、いえにかえると、さっそく ゴミを なくす  
ための とりくみを はじめました。ぎゅうにゅうパックを  
きりにとって、はちうえに してみました。スーパーの ゴミ  
ぶくろを かわいく いろづけして、2かい、3かいと つ  
かえるように しました。

「これでよし！」

リビングへ いくと、おとうさんが ほうそうしで おか  
しの はこを つつんでいるところでした。1まい、2まい  
—なんと、3まいも つつんでいるでは ありませんか。

「おとうさん！ どうして、ほうそうしで つつむの？ ゴ  
ミに なっちゃうんじゃないの？」

「つつむことには、たいせつに している、まもるというい  
みがあるんだよ。にほんの むかしからの でんとうな

んだ。こうやって つつむと、ていねいに しているきも  
ちが つたわるだろう？ さあ、マサルも そのはこを  
つつんでくれないか。」



マサルは、おかしの はこを つつむべきでしょうか。あな  
たの かんがえと りゆうをかきましょう。

<p>.....</p> <p>.....</p>
---------------------------

はなしあって かんがえたことを かきましょう。

<p>.....</p> <p>.....</p>
---------------------------